

# 令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

## 学校の概要

大阪市立豊里南小	学校
----------	----

児童数	34人
-----	-----

### 平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	15.82	15.83	33.44	34.56	29.94	9.63	150.89	20.50	47.35
大阪市	15.70	19.17	33.01	38.63	45.42	9.52	148.43	20.76	51.54
全国	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
女子	14.19	17.33	34.20	34.20	28.07	9.79	147.47	12.47	51.07
大阪市	15.40	18.33	37.58	36.86	35.15	9.83	139.41	12.67	52.58
全国	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

### 結果の概要

男子は握力・長座体前屈・立ち幅とび以外は全国・大阪市平均を下回っている。女子は立ち幅とび・50m走以外は全国・大阪市平均を下回っている。男女ともに20mシャトルランと反復横とびは、大きく下回っており、持久力・走力・俊敏性に課題がある。

体力合計点は、男女ともに全国・大阪市平均を下回っており、特に男子は差が大きい。男女とも総合評価のA評価は0%で、男子はB評価10%、E評価23.5%、女子はB評価21.4%、E評価14.3%である。男子は全体的に数値が低く、4分の1がE評価であることが課題である。

「運動やスポーツをすることは好きですか」に対して肯定的に回答する児童は、男子が100%、女子が87%で高い数値になっている。「体育の授業では、進んで学習に参加していますか」に対しては、男女ともに100%であり、運動に対する態度は前向きであると言える。

1週間の総運動時間が60分未満の児童は、男子が12.5%で、女子が0%である。普段、全く運動をしない児童の割合が、体力合計点の結果に表れているようである。

### これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

昨年度の結果を踏まえて、今年度は立ち幅とび（瞬発力）の強化に取り組んだ。その結果、男子は大阪市平均を上回り、女子は全国・大阪市平均を上回った。重点的に取り組むことで成果が表れているので、今後も課題克服と体力全般の向上に取り組んでいく必要がある。

「朝食は毎日食べますか」に対して「毎日食べる」と回答する児童の割合は、男女ともに全国・大阪市平均より大きく下回っている。「学習以外で1日にどのくらいテレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか」に対して「5時間以上」と回答する児童の割合は、男女ともに全国・大阪市平均より高い。生活習慣と、ゲームやスマートフォンを使用する時間は相関関係が高いと思われる。食事や睡眠時間等基本的な生活習慣を身につけ、適度な運動と節度あるゲーム、スマートフォンの使用が、健康保持と体力向上に欠かせないことの啓発・指導を継続していく必要がある。

児童の多くが運動は好きであり、体育学習に進んで参加している。児童の意欲を運動能力の向上につなげることが課題である。児童が自分の体力を把握し向上させる喜びを感じられる指導法を研究し、体育学習が日常的な運動習慣に広がっていくことを目指した取り組みをしていく必要がある。